

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックが 医学生に与えた心理的影響

【概要】

COVID-19の社会的影響は計り知れないが、医学生に与えた影響についてのデータが少ない。本研究では岡山大学医学部に所属する717名の医学科生を対象に、2020年4月に発出された緊急事態宣言によって生じた心理的变化に関してウェブ・アンケート調査を実施した。

473名(66.0%)から回答が得られた。オンライン講義へ移行したことについて、約3割の医学科生は十分な学びが得られない可能性を懸念していると回答した。また、そういった不安を感じている学生（オッズ比[OR]1.97, 95%CI 1.19-3.28）、食糧援助（OR 1.99, 95%CI 1.16-3.44）や精神的ケアを必要とすると回答した学生（OR 3.56, 95%CI 2.07-6.15）は、全般的な不安や抑うつ状態にある傾向が強かった。

感染症パンデミックによるオンライン講義への移行は医学科生に大きな心理的負担を与えており、指導教官は潜在的な抑うつや不安の緩和に注意することが重要である。

Nishimura Y, Ochi K, Tokumasu K, Obika M, Hagiya H, Kataoka H, Otsuka F.
Impact of the COVID-19 Pandemic on the Psychological Distress of Medical Students in Japan:
Cross-sectional Survey Study. J Med Internet Res. 2021 Feb 18;23(2):e25232.